

演 題

成長期における靴環境が 身体機能に及ぼす影響

[運動パフォーマンスを上げる健康診断時の足サイズ計測]

一般社団法人 日本靴育協会 代表理事

もり ち あき
森 千秋氏



講師紹介

～プロフィール～

新潟医療福祉大学院 後期博士課程 医療福祉研究科在学中。

専門は靴人間工学「靴環境が身体に及ぼす影響」等を研究。修士(保健学)

2015年より、静岡市教育委員会派遣「外部スペシャリスト講師」として、小・中学校にて「靴の授業」をスタート。毎月第1金曜日12時30分より「靴育ラジオ」を放送中(FM清水)

○2017年新聞掲載:「靴工房をオープン」「この人」「静岡市男女参画事業 女性活躍ブランド認定」「松崎町全町民足計測計画」ほか

○学会発表・講演:「靴の正しい選び方」など多数

～靴育とは～

25歳で潰瘍性大腸炎を発症。免疫力を高めるためにウォーキングを始める。しかし、投薬による体重増加によって、左足内側半月板断裂、二分の一を切除した。そのとき、初めて靴選びと歩き方の大切さに気が付く。

専門資格を取得後、7年間で1万人以上の足計測を行い、科学的根拠に基づく独自の靴選びメソッドを展開。そこで、靴の選び方・履き方・立ち方から正しい歩行を促す靴教育(靴育)を提唱し、靴教育をとおして、足・靴・歩行から健康寿命の伸長を目指すとともに、新しい靴文化を創造することを目的とする。

～社会における活動～

○学校・企業のための健康診断時足型計測会

○靴育定例講座「正しい靴選び」

○IPW(専門職連携協働)推進事業(県最少人口の町「松崎町全町民足計測」の実施)

○2017年「足と靴を科学するマイ・シューズ・ストーリー」オープン(足と靴のトラブルを抱える「靴難民」のための駆け込み寺)